

中学部 保健体育 2段階 E球技

単元名:「ベースボール型 ソフトボール」

Hさんの本時の評価規準（保健体育科2段階）

- ② より遠く打つことについて、自他の課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりして実践しようとしている。
（思考・判断・表現）

＜枠を越えた力：問題発見・解決能力＞

- 学習で得た知識から解決方法を探して、結果を予測し試行錯誤等をしながら、問題発見・解決に必要な力を身に付ける。

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

教材

- ・ICT機器を活用して、分かりやすい動画等を用いたり、自分の動きをふり返ったりするようにする。



指導

- ・生徒が動きを意識できるようなポイントを押さえた言葉掛け。

言葉

- ・生徒が分かりやすい体の動きを表現した言葉の使用
- ・言葉の統一（基本的な用語や体の動きを表す言葉、発問など）。

単元構成

- ・自分の課題をゲームの中で気付くように設定することで、本人の意欲や考えに沿って解決に向かうようにする。
- ・考えを深めるための時数配分。



＜単元研究会のあと・・・＞

次の単元では、球技「ネット型」のバレーボールに取り組んでいます。思・判・表の資質・能力を育むために、考えを深める時間を多く設定しました。また、知識・技能で習得させるもの、習得した知識・技能を活用して身に付けるものを選別して展開を考えました。オーバー・アンダーハンドパス等の基本的な知識・技能を習得した上で、試合後に「味方にボールをつなぐためには」という焦点化した発問をすることで、前時の知識・技能を振り返り、活用しながら話し合い活動が展開でき、思・判・表が育まれる中で、知識・技能が深まるのではないかと思います。単元を設定するなど、生かすことができました。

